

令和4年2月14日

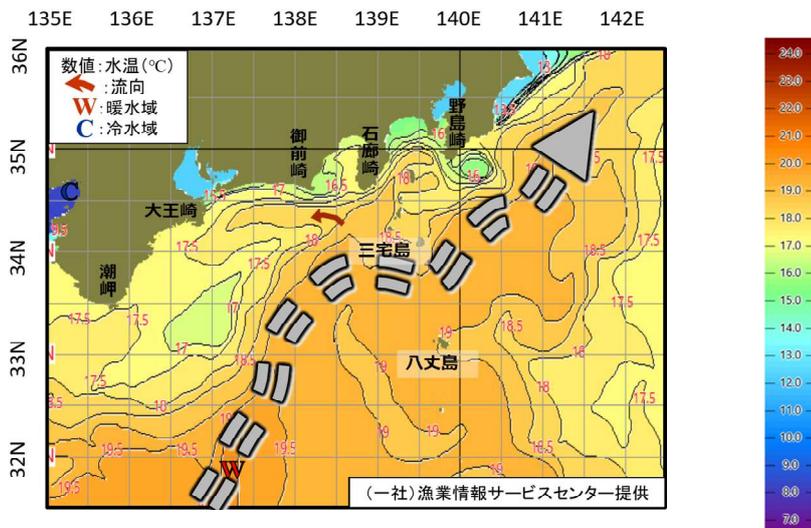
＜黒潮流路＞

2月14日の人工衛星画像によると、黒潮は都井岬沖を東に進み、潮岬沖の北緯31度付近から八丈島の西側を北上して石廊崎に接近し、その後房総半島沖へ流れています。また、先日まで北緯28度付近まで南下していた黒潮の一部が冷水渦（図中①）として切り離された模様です。

＜渥美外海の状況＞

現在、石廊崎沖の黒潮の屈曲部から、遠州灘に暖水が波及しているため、高温傾向が継続しています。現在、流路変動に影響する黒潮流量の指標となるトカラ海峡（名瀬－西之表）の潮位差は低い水準で推移しており、流路の大きな変化はないと思われていますが、FRA-ROMSの海況予測では、室戸岬沖の冷水渦（図中②）が東に移動し、潮岬沖の冷水渦（図中③）と接合して拡大し、石廊崎沖の黒潮の屈曲部が徐々に西に移動する予測です。

2月14日の水温分布と黒潮流路（詳細図）



2月14日の水温分布と黒潮流路（広域図）

